

広報 にしあいづ

万感の思いを胸に

3月11日、西会津中学校で卒業式が行われ、佳吉哲也校長から卒業生一人ひとりに卒業証書が手渡されました。

卒業生は、中学校での思い出を胸に抱き、通いなれた学び舎を後にしました。



主な内容

- 平成23年度 町の重点的な取り組み.....P2~4
- 地域づくりを応援します.....P5
- 町内企業を応援します.....P5
- 新規就農者を応援します.....P6
- 3月議会定例会報告.....P6
- 大震災、そして今後.....P7
- 新入学おめでとう.....P8
- 町教育顕彰表彰.....P9

Nishiaizu NO.630

2077 4月号
(平成23年)

編集と発行 福島県耶麻郡西会津町役場
☎0241-45-4536 (企画情報課)
Eメール kikaku@town.nishiaizu.fukushima.jp
<http://www.town.nishiaizu.fukushima.jp/>

「住んで良かったと思える 明るく元気な町づくり」に向けて

「みんなの声が響くまち にしあいつ」を基本理念とする総合計画のもと、町民の皆さんが夢と希望を持って、そして安心して暮らすことができる「住んで良かったと思える明るく元気な町づくり」に向けて全力で取り組んでいきます。

こころ豊かな人を 育むまちづくり

◆人材の育成・教育の振興

◆学校教育の充実

来年度4月の「西会津小学校」の開校を控え、校歌や校章の制定をはじめ、暫定的に統合小学校の校舎となる野沢小学校の施設整備、スクールバスの運行など、統合に備えた教育環境の整備に万全を期していきます。

また、創意と工夫による特色ある教育活動を推進し「知・徳・体」のバランスの取れた子どもを育て、さらに「自ら考え行動し、問題を解決していきける開拓者精神と自立心」を養う教育を引き続き推進します。

障がいのある児童生徒がその可能性を最大限に伸ばし、自立し社会参加するために必要な力を培うため、一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導の充実に努めます。

複式学級緩和対策については、児童に応じた指導の一層の充実を図るため、町単独の非常勤講師を配置し、学習指導および生徒指導の向上を図ります。

また、放課後や週末などに児童が安全に安心して活動できる場を支援する「放課後子どもプラン事業」を地域の皆さんの協力をいただきながら継続して実施し、さらに「学校支援地域本部事業」により、地域全体で子どもたちを育てる体制づくりを進めます。

県立西会津高校については、県教育委員会、学校、保護者と連携し、地域に根ざした独立校として存続できるよう支援します。



学校大好き

◆生涯学習の推進

町民の皆さんがそれぞれの年代や目的に応じて学習できるよう、各種講座・教室の開催に努めます。また、集落での出前講座の開催など、学びの環境を充実します。

◆スポーツ活動の推進

スポーツ環境の整備をはじめ、スポーツ団体や少年団などへの支援を推進します。

◆芸術文化活動の推進

貴重な文化財、伝統文化や民俗芸能などの保護、調査を行うとともに、伝承員制度の創設により、効果的な保存伝承に努めます。

豊かで魅力ある まちづくり

「地域経済の活性化」

◆農林業の振興

新たに町独自の取り組みとして「新規就農者あんしんサポート事業」を実施します。この事業は、町外からの移住就農や町内非農家からの就農初期の基礎づくりのための営農研修費などを支援し、農林業を担う人材を確保するための事業です。

パイプハウスの導入については、規模拡大や新規参入などの希望があることから、園芸作物

用は10棟程度、苗床栽培用は3棟程度の整備を計画しており、生産性と農業所得の向上により町農業の活性化を図ります。

農林産物のブランド化や加工などによる高付加価値農業の推進については、町にはミネラル栽培野菜のほか、さまざまな農産物があり、これらの特産化を推進するため、加工研修会を開催しています。その内容の充実と加工品開発に取り組む町民支援を積極的に実施します。

水田農業については、「農業者戸別所得補償制度」が畑作物にも対象を拡大して本格実施されることから、米依存の農業経営から園芸作物を取り入れた複合経営を一層推進し、農家所得の向上を図るため、積極的に制度への加入を推進します。



加工研修会

林業の振興については、新たな森林整備計画や、森林経営計画などの策定を関係者の皆さんとともに進めます。

有害鳥獣対策については、捕獲活動などによる被害拡大の防止対策を進めるとともに、ツキノワグマの被害対策についても、町民の皆さんの協力をいただきながら、各種被害防止対策を実施します。

◆雇用対策

雇用をめぐる環境は依然として厳しい状況が続いていることから、町としては、一人でも多くの方の雇用を確保するため、引き続き県の「ふるさと雇用再生特別基金事業」「緊急雇用創出基金事業」を最大限に活用し、積極的に雇用の確保に取り組めます。

また、昨年開所した「無料職業紹介所」で地元企業の求人情報を収集・提供し、地域の雇用ニーズに合わせたきめ細かな雇用対策を進め、厳しい雇用情勢の改善を図ります。

◆商工業の振興

商店を含めた企業などへの支援策として「中小企業振興資金融資制度貸付事業」「中小企業融

資制度資金利子補給補助事業」を実施し、町内企業の経営安定化に向けた支援を行います。

また、企業が行う研修費用や資格取得費用などを助成する「企業支援事業補助金」を創設し、更なる企業支援を図ります。

◆観光の振興と地域資源の活用

町では交流人口の増加による地域の活性化を重要施策の一つに位置づけているところです。

株式会社JTBの清水慎一常務取締役をアドバイザーに依頼し、引き続き町全体の観光振興に係る指導を受け、観光振興の推進を図ります。

また、清水常務からの指導により設置した、特産品の開発をはじめ遊休施設の活用などを検討する「若者まちづくりプロジェクト会議」を地域の活性化、人材育成の観点からも、引き続き実施していきます。

また「西会津元気グリーンツーリズム協議会」では、実際に県内外の小学生の本格的な受け入れを目指した取り組みを強化していくことから、町としても積極的な支援を行います。



モーターツアー

◆活力ある地域づくり支援

町が活性化していくためには、町内の個々の集落や団体などが活性化していくことが必要不可欠です。

このようなことから、新たに「活力ある地域づくり支援事業補助金」を創設し、地域活性化に取り組む団体などを積極的に支援します。

◆定住促進対策

定住対策を推進するため、結婚祝金の支給、後継者対策として、結婚活動支援イベントを引き続き実施し、定住促進と後継者対策を推進します。

◆情報化の推進

町では、ケーブルテレビ高度化事業を計画的に進めており、第二期工事については、未整備地区の光ファイバー化および加入者宅への引き込み工事を実施するとともに、荒木地区第二受信施設の整備、奥川地区中継局の（サブセンター）整備などを行う計画です。

また、携帯電話エリア整備事業については、黒沢地区の整備に取り組み計画で、NTTドコモ、auの通話が可能になる予定です。

高度情報基盤の整備を計画的に進めるとともに、行政サービスの向上と地域経済の活性化、さらに人材の育成、健康づくりと安全・安心な環境の整備などの分野でも、ICTの多様な活用を推進します。

◆生活環境づくり支援事業

この事業は、住宅環境の整備と地域経済の活性化を目的とするもので、4月中旬から受け付けを開始し、5月の連休明けには事業を実施できるようにします。

人と自然にやさしい まちづくり

「健康づくりと安全・安心」

◆健康づくりの推進

「健康がいちばん」をキャッチフレーズとして、保健・医療・福祉の連携を図りながら、町民の総合的な健康づくりを進めます。

保健事業については、町の病気別分類のなかで上位を占める高血圧性疾患、悪性新生物、膝関節疾患など重症化の恐れがある疾病予防のため、食生活の改善や運動の習慣化、健診の充実を進めます。

特に、働き盛りの若い世代の健康意識の向上を図るため、事業所などに対して訪問活動を実施し、健診の受診勧奨や健診事後指導を行うほか、積極的に地域に出向いて保健指導を行います。

また、精神保健事業については、相談機能を充実させ、心の健康づくりを一層推進します。

◆医療体制の整備

診療所の新たな医師の確保をはじめ、事故防止やきめ細かな服薬指導などを効果的に行うため調剤薬局から薬を処方できる

よう分業を進め、町民の皆さんが安心して受診できる体制整備を図ります。

また、診療科目の増設などを含め、診療体制の充実を図ります。

◆福祉の充実

町の高齢化率は高齢者の減少により現在は、%前後で推移しています。しかし、後期高齢者の割合が年々高まっており、また、家庭や地域で介護や支援を必要とする人たちを支える力が低下し、緊急に対応すべき困難なケースの相談も増加しています。



いつまでも健やかに

このようなことから、支援を必要とする人たちが求めるニーズを的確に捉え、住み慣れた家庭や地域で安心して生活ができるよう、在宅福祉サービスなどの充実と相談体制の強化を図ります。

◆集落支援員の配置

高齢化が進み、農道や水路の維持管理や社会的な共同活動が困難になってきている集落や、5年後、10年後の将来に不安を抱える集落が増加しています。

これらの集落に対し、関係機関と連携しながら実態を把握し、実情に応じた支援や活性化の支援を行うため、集落支援員一名を配置することにしました。

集落支援員は、高齢化率が高い集落を中心に定期的な訪問や見回りを行い、集落のニーズに応じた支援を実施するほか、農林業関係事業の取り組みに向けた事務的支援をはじめ、地域づくり団体の支援なども行います。

◆交通体系の整備

西会津小学校開校にあわせてスクールバス運行の見直しに伴い、町民バスの運行体系についても全面的な見直しが必要となつていきます。見直しにあたっては、これまでの運行実績や集落などの状況に応じた公共交通としてのあり方を総合的に検討し、できるだけ早期に、新たなバス交通体系を整備します。

◆道路網の整備

交通利便性の向上、地域活性化の観点から、町縦貫道路などの整備を引き続き進めるほか、改良が必要な町道については、優先順位をつけながら、計画的に整備を進めます。

また、農林業の活性化や生活道路としての農林道の計画的な整備を進めます。

◆克雪・利雪

雪に強いまちづくりに向けて、高齢者世帯などの住宅除雪を支援する除排雪協力員との連携強化と、ボランティア組織の拡大を図ります。

◆上下水道の整備

水道施設については、設備の改修をはじめ、老朽管の更新により安全安心な水道水の安定供給に努めます。

また、水道未普及地区については、要望などに基づき整備の可能性について調査を進めます。下水道については、特定環境保全公共下水道・野沢処理区、および個別排水処理施設の整備を進めます。

◆快適な環境づくり

ゴミの減量化、再資源化に取り組む、循環型社会の形成に努めるとともに、町の環境保全に関する基本的な理念のもと、総合的に施策を推進していくための計画などを策定します。

◆安全・安心なまちづくり

各種防災訓練などを通じ、消防防災力を高めます。また、消防施設、設備についても計画的に整備を進め、災害に強いまちづくりを進めます。

地域づくりを応援します

町民の皆さんが自主的に行う活動で、地場産業の振興、都市との交流や伝統文化の保存継承など、地域の活性化につながると認められる事業に対し町が支援する「活力ある地域づくり支援事業」を実施します。

事業の目的

町が活性化していくためには、町内の個々の集落や団体などが活性化していくことが必要不可欠です。

このようなことから、新たに「活力ある地域づくり支援事業補助金」を創設し、持続可能な地域活性化に取り組む団体などを積極的に支援します。

対象者

町民の方で、持続可能な地域の活性化を推進するための活動を行う団体および個人

補助対象事業

- ①地場産業の振興のための事業
- ②都市との交流促進を図るための事業
- ③伝統的工芸品などの振興を図るための事業
- ④芸術、文化の振興事業
- ⑤伝統行事や郷土芸能の継承保存活動に関する事業

補助金の額

1 団体1事業で原則50万円以内とし、総事業費の75%以内
※事業継続期間は、原則3年まで

対象となる経費

- ◆オペレーターなど専門的技術を要する方の賃金
- ◆講師の謝礼など
- ◆研修や講師依頼にかかる旅費
- ◆事務用消耗品、材料費や燃料費
- ◆電話料、郵便料など
- ◆加工作業などの委託料
- ◆機械の借上料など
- ◆備品の購入費など

【問い合わせ先】

商工観光課地域振興係

☎45-22113

町内企業を応援します

町では、町内企業の経営安定化に向けた支援のため、企業が行う研修費用や資格取得費用などを助成する「西会津町企業支援事業」を実施します。

事業の目的

世界経済の情勢悪化や円高などによる受注量の大幅な減少など、町内企業を取り巻く情勢は大変厳しい状況となつています。

町内企業には、数多くの町民の方が雇用されており、町に対する貢献は非常に大きいものがあることから、現在の厳しい環境を改善し、企業の維持存続および町民の方の雇用の確保を図ります。

対象となる企業

町内の事業所、企業やそれらで構成する団体（工業会など）

企業支援の内容

- ◆企業などが負担した研修費用や資格取得費用の助成
- ①企業などが1年間に行う人材育成のための研修会や企業が必要とする各種資格取得費用の2分の1以内で上限10万円を助成します。
- ②工業会などの団体が1年間に行う研修会費用の2分の1以内で上限30万円を助成します。

◆下水道接続に対する利子補給補助

町の下水道に企業が接続した場合の排水設備工事費用の借入に対する利子分を補助金として助成します。

◆ハローワークや商工会などの連携による各種説明会の開催

ハローワークや商工会などの関係機関と連携を図り、国や県などの助成制度の説明会を開催し、周知を図ります。

◆町内企業自製製品のPRと販売促進を図るための公共施設の提供

町内企業が製造した製品の展示・販売会の会場として、交流物産館よりつせや町公民館などの公共施設を無料で提供し、企業のPRと販売促進を図ります。

◆町内企業PRのためのガイドブックの作成

町内企業を広く周知するため、町内主要企業を掲載したガイドブックを作成し、企業のPRに努め、人材の確保などにつなげます。

【問い合わせ先】

商工観光課商工観光係

☎45-22113

新規就農者を応援します

町では、農業を担う人材を確保するため、町外からの移住就農や町内非農家からの就農初期の基礎づくりのための営農研修費などを支援する「新規就農者あんしんサポート事業」を実施します。

事業の目的

農業従事者の減少と高齢化が急速に進み、農地の保全や農村環境の維持・活性化を図るためには、農業を担う新たな人材の育成が急務です。

一方で、新規就農についての相談などが増加傾向にあり、このような状況を踏まえ、町内で定着した就農と安定した経営の基礎づくりができるよう新規就農者をサポートします。

対象者・条件

- ①町外から移住し就農時に住所がある方（予定も含む）または町内の非農家から農業経営に意欲的に取り組む方
- ②18歳以上40歳未満の方
- ③県知事から就農計画の認定を受けた方（認定就農者）
- ④5年以上継続して就農することが確実である方
- ⑤5年後までに認定農業者になる意志のある方

事業内容

◆営農研修費の助成

町内農家および農業短大などで研修教育を受けるために必要な経費を助成します。

- ①町外からの移住による新規参入の場合3年間を限度に月額5万円を助成
- ②町内非農家の場合3年間を限度に月額3万円を助成

◆住宅賃借料の助成

町外から移住し、住宅を借りて就農する際の住宅賃借料の一部として、3年間を限度に月額2万円を助成します。

◆農地の斡旋

農業委員会または担い手協議会の情報を活用し、農地賃借などの調整を図ります。

【問い合わせ先】

農林振興課農政係

☎45-4531

3月定例会 議会報告

3月11日から25日までの15日間を会期に開かれた3月議会定例会は、提案された35の議案のうち34議案を可決・承認、1議案を修正により可決し閉会しました。

可決・承認された議案

■町職員の育児休業等に関する条例の一部改正

一般職の非常勤職員について、育児休業および介護休業などを取得することができるようにするための改正

■職員の給与に関する条例の一部改正

職員の通勤手当の上限額の改正、および再任用短時間勤務職員の時間外勤務手当の支給などに係る改正

■町国民健康保険条例の一部改正

出産育児一時金の支給額35万円を暫定的に4万円引き上げていたものを、4月から恒久化するための改正

■町道路占用料徴収条例の一部改正

町の道路占用に係る使用料の額などを改正

■平成22年度補正予算の専決処分の承認

一般会計（第10次）

■平成22年度補正予算

一般会計（第11次）、住宅団地造成事業特別会計など、会計

■平成22年度補正予算

一般会計（第12次）

■平成23年度予算

一般会計、工業団地造成事業特別会計など13会計
（創作和太鼓関連予算を一部修正）

■平成23年度補正予算

一般会計（第1次）

■本町財産公社造林契約の一部変更
県林業公社との分取造林契約について、収益分収割合の見直し、および契約期間を延長

■辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更
尾野本辺地、群岡辺地計画の事業追加等について、平成23年度の辺地対策事業債を充当し整備を図るための変更

■過疎地域自立促進計画の変更
過疎計画の事業追加について、平成23年度の過疎対策事業債を充当するための変更

■県市町村総合事務組合を組織する団体数の減少及び福島県市町村総合事務組合規約の変更
福島地方広域行政事務組合が同組合から脱退することなどによる規約の一部変更

大震災、そして今後

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震。町内でも大きな揺れが観測されましたが、幸い被害はありませんでした。しかし、東北地方から関東地方の沿岸部を中心に甚大な被害が発生し、今なお各地の避難所で多くの被災者が不自由な生活を強いられています。今月号では、地震発生から現在までと今後の町の対応についてお伝えします。

地震発生後の対応

11日午後2時46分頃、宮城県三陸沖でマグニチュード9.0の巨大地震が発生しました。本町では震度5弱を観測したことから、直ちに「町警戒対策本部会議」を設置し、町・西会津消防署・西会津交番や消防団による関係者会議を開催。被害状況の把握とその対策を行うこととしました。

第一に町民の安全確認を優先し、あわせて家屋やライフラインへの被害状況、道路破損や雪崩の発生などの把握を防災関係機関や民生委員などの協力のもと、町内すべての集落について実施しました。

町内では大きな被害なし

その結果、幸い事故や建物の倒壊などの大きな被害はなく、また水道などのライフライン、道路の破損や雪崩の発生などは確認されませんでした。

その後も余震が続いたことから、直ちに防災行政無線、ケーブルテレビによる注意喚起に努めるとともに、交通情報などについても周知を図り、町民の不安解消に努めました。

JR・磐越道が一時不通に

本町では、人的被害、停電や断水などはありませんでしたが、地震直後には電

話やインターネットがつかない障害が発生しました。

また、交通機関への影響では、磐越自動車道が閉鎖され、高速バスも運休や一般道への迂回運行となりました（24日復旧）。JR磐越西線についても点検のため、運行を見合わせました（25日復旧）。

生活物資の不足が続いた

また、この状況に伴い、物資輸送が滞ったため、各店舗では食料品などの入荷が減少し、ガソリンや灯油などの売り切れなどにより臨時休業する小売店も出ましたが、磐越道が開通し、少しずつ物資の不足も解消に向かっています。

被災地へおにぎりを

会津地方災害対策本部（会津地方振興局）からの依頼により、14日から17日までの4日間、町食生活改善推進員の協力をいただき、毎朝10000個の「おにぎり」を被災地に届けました。

被災者のため避難所を開設

被害を受けた方への支援を行うため、13日「東日本大震災支援対策本部」を設置しました。17日にはさゆり公園体育館を避難所として開設し、延べ83人の方が入所され、現在も60人の方が避難されています（28日現在）。

開設にあたっては、町内に支援物資の提供を呼びかけたところ、延べ626人（28日現在）の方から毛布、布団、衣類や米など、団体などからは洗濯機、電気ポットやカップラーメンなど多くの物資提供をいただきました。

また、避難所での食事の配膳や清掃などへ多くのボランティアの方に協力をいただき、町をあげての避難者支援を行っています。

生活への影響が心配です

地震は、余震は続いているものの小震状態となりました。しかしながら、津波による損壊を原因とし東京電力福島原子力発電所が事故を起こし、現在も放射性物質の飛散が続いています。

このことから、町では水道水の放射性物質の検査をしています（28日現在）。また、町産の農産物についても検査を行い、ホウレンソウは、放射性ヨウ素は規制値を大きく下回り、放射性セシウムは検出されず、菌床しいたけは、ともに検出されませんでした。

しかしながら、県内の野菜などが出荷・摂取制限されるなど経済的な面においては、今後、町にも影響が出ることを考えられます。そうしたことが起こらないよう、国、県や関係機関の懸命な対策を強く要請しています。

町として全力で対応します

町としては、町民の皆さんの生活に支障を生じさせないよう、国、県などから情報を収集しながら、町としてできる対策に全力で取り組んでいきます。また、万が一具体的な支障が生じた際には、国、県や関係機関に支援を要請するとともに、早急な対策による解消についても強力に要請していきます。



①避難所となったさゆり公園体育館
②避難された皆さん
③夕食配膳の様子
④⑤南相馬市から避難された阿部真奈実さんへ小学校の卒業をたたえる「卒業称書」が、大戸亮くんには幼稚園の卒園をたたえる「卒園称書」が町教育委員会から贈られました



新入学おめでとう！

今年度、町内の各小学校に入学した児童は、平成16年4月2日から平成17年4月1日までに生まれた40人です。
真新しいランドセルを背負い、元気に入学した子どもたちを紹介します。



野沢小学校体験入学から
お兄さん、お姉さんと一緒に
風車作りや手作りのすごろく
などで楽しいひとときを過ご
しました。

野沢小学校 18人

1町内	小椋 楽人くん	松尾	長谷川 梓璃ちゃん
2町内	長谷川 姫菜ちゃん	下小島	佐藤 芽生ちゃん
2町内	渡部 花菜ちゃん	西林	西田 美妃ちゃん
3町内	薄上 葉月ちゃん	西林東	五草 朱雀ちゃん
4町内	皆川 初ちゃん	西林東	長谷川 聖菜ちゃん
5町内	岩原 柚季くん	さりが丘	渡部 颯くん
9町内2	板垣 歩くん	上小島	小柴 萌愛ちゃん
9町内2	今井 凛ちゃん	上小島	佐藤 海くん
下小屋	笠間 悠ちゃん	上小島	佐藤 富弥くん
10町内	飯嶋 莉子ちゃん	黒沢	渡部 愛美ちゃん
西平	三留 拓真くん		
芝草	大槻 陽菜ちゃん		
芝草	渡部 凌輔くん		
安座	齋藤 匠くん		
西原	伊藤 琉臣くん		
西原	清野 亜依莉ちゃん		
西林東	佐藤 つかさちゃん		
戸中	小柴 昌太くん		

尾野本小学校 15人

森野	猪俣 葵咲ちゃん
森野	舊田 鳳生くん
松尾	須藤 瑞月ちゃん
松尾	長谷川 寛奈ちゃん

群岡小学校 5人

上野尻	中村 あゆみちゃん
上野尻	土田 俊哲くん
上野尻	土田 瑛太くん
上野尻	武藤 一央くん
下野尻	塚原 健剛くん

新郷小学校 1人

樟山	武藤 由紀乃ちゃん
----	-----------

奥川小学校 1人

宮野	矢部 千穂ちゃん
----	----------

※名簿については、3月29日現在で掲載しています。

さまざまな分野で大活躍

3月9日、交流物産館よりついで町教育顕彰表彰式があらわに、平成22年度に各種コンクールや大会で活躍した児童・生徒をたたえました。受賞者（敬称略）は以下のとおりです。



- 【個人】 ※学年は受賞時
- 高橋 由輝（新郷小3年）
青少年読書感想文全国コンクール小学校中学校の部入賞、全国書画展覧会書の部金賞、県ジュニア空手道選手権大会優勝（全国大会出場）など
- 高橋 晃樹（新郷小5年）
全国書画展覧会書の部金賞
- 長谷川 大成（新郷小5年）
県ジュニア空手道選手権大会第3位（全国大会出場）
- 長谷川 雅子（新郷小6年）
県小中学校民友図画コンクール最優秀
- 伊藤 莉穂（奥川1年）
県児童画展入賞
- 長谷川 光（尾野小2年）
社会を明るくする運動福島県推進委員会作文コンテスト優秀賞
- 眞部 亮凱（尾野小3年）
県児童作文コンクール準特選
- 眞部 香（尾野小4年）
県防火ボスターコンクール最優秀賞、全国マシニング大会大会男子総合9歳以下500m優勝
- 鈴木 颯太（尾野小3年）
県ジュニア空手道選手権大会準優勝（全国大会出場）
- 眞部 香（尾野小4年）
県児童理科作品展入選
- 眞部 美沙希（尾野小4年）
県ジュニア空手道選手権大会準優勝（全国大会出場）
- 磯 澤風（尾野小6年）
全国マシニング大会女子総合12歳以下1000m第3位
- 塚原 著（群岡小1年）
県児童作文コンクール準特選
- 貝沼 希実（群岡小1年）
県書きぞめ展書きぞめ奨励賞
- 新田 日南人（西会津中1年）
県中学校水泳選手権大会中学1年男子100m自由形第2位
- 船橋 風音（西会津中1年）
県中学校水泳選手権大会中学1年女子50mバタフライ第4位
- 生方 歩高（西会津中2年）
東北中学校体育大会男子背泳ぎ100m第9位、県中体連水泳大会男子100m背泳ぎ第1位、男子200m背泳ぎ第2位など
- 三留 著（西会津中2年）
県中学校水泳選手権大会中学2年男子50m自由形第5位
- 齋藤 悠太（西会津中2年）
県中学校新人陸上競技大会男子棒高跳び第6位
- 西田 豊（西会津中2年）
県中学校体育大会スキー競技大会入賞（全国大会出場）
- 渡部 悠太（西会津中2年）
県火災予防絵画・ボスターコンクール住警器設置推進中学生部門特選
- 新田 佳帆（西会津中2年）
県書きぞめ展書きぞめ奨励賞
- 星 牧（西会津中2年）
全国中学生人権作文コンテスト福島県大会若松人権擁護委員協議会長賞
- 佐藤 裕亮（西会津中3年）
県中学校通信陸上競技大会男子400m第5位、県中学校体育大会陸上競技大会男子400m第6位
- 貝沼 和樹（西会津中3年）
県中学校通信陸上競技大会男子110m第6位、県中学校体育大会陸上競技大会男子110m第7位
- 長谷川 みゆき（西会津中3年）
県中学校通信陸上競技大会女子400m第7位
- 菊上 あおい（西会津中3年）
全国中学生人権作文コンテスト福島県大会奨励賞
- 五木 恭介（西会津高3年）
県高等学校体育大会水泳男子シングルスカル第1位（全国大会出場）、東北高等学校ボート選手権大会水泳男子シングルスカル第8位など
- 二瓶 真子（若松商業高3年）
齋藤 奈津美（若松商業高3年）
全国簿記競技大会団体競技高等学校の部優勝
- 富川 壮太（会津工業高3年）
東北高等学校新体操選手権大会団体競技第4位（全国大会出場）など
- 伊藤 要平（喜多方高3年）
東北高等学校陸上競技大会男子400m第9位など
- 長谷川 未希（会津学園高3年）
荒井 知佳（英高3年）
佐藤 一紀（喜多方高3年）
井上 優志（喜多方高3年）
山口 智代（喜多方高3年）
植木 克洋（喜多方高3年）
桑原 由佳莉（喜多方高3年）
長谷川 貴則（喜多方高3年）
全日本合唱コンクール東北支部大会高等学校部門銀賞
- 五十嵐 一樹（喜多方東高1年）
東北高等学校選手権大会水泳競技男子100m自由形第6位など
- 【団体】
- 西会津高等学校放送部
NHK杯全国高等学校放送コンテストテレビドキュメント部門優秀賞
- 新郷小学校
県学校園保健優良校努力賞
- 奥川小学校
わたしが作る朝ごはんコンテスト学校賞
- 群岡小学校
花いっぱいコンクール花いっぱい部（団体の部）福島民友新聞社長賞
- 西会津中学校
全国中学生人権作文コンテスト福島県大会学校賞
- 【社会人等】
- 故村越 保寿（会津坂下町）
町文化財調査委員、町史刊行委員として、本町の文化財保護や町史刊行に多大の尽力をされた。

まちの 話題

西会津高校卒業式



町内各学校で卒業式

3月1日、西会津高校で卒業式が行われ、66人の卒業生が、新たな道へと歩み始めました。式では、阿部光成校長から卒業生一人ひとりに卒業証書が手渡され、須藤歩美さんが送辞を、赤城耕宙さんが答辞を述べました。

また、3月23日には町内の小学校で卒業式が行われ、67人が小学校の全課程を修了しました。

群岡小学校では、保護者が見守る中、佐藤清美校長から卒業生7人に卒業証書が手渡されました。卒業証書を手にした卒業生は、在校生や先生に見送られ、思い出のたくさん詰まった校舎に別れを告げました。

群岡小学校卒業式



道路環境を地域で守ろう

地域の美化団体、市町村と県が協働で道路の清掃や美化活動を行う「うつくしまの道・サポート制度」の合意調印式が2月28日、町役場で行われました。

この制度では、美化団体は道路の花植えや除草を行い、町は連絡調整と収集ごみなどの処分、建設事務所は活動用品の貸与や活動をPRする表示板の設置などを行います。

今回合意したのは、町交通安全母の会奥川分会、花の会こやま、雷山花園会で、それぞれの代表、町と建設事務所が合意書に調印しました。



地域を活性化するために

2月23日、町公民館で「交流人口の増加で元気な町に」プロジェクト」合同発表会が行われ、およそ100人が参加しました。

この発表会は、地域活性化や交流人口拡大のために活動している「若者まちづくりプロジェクト」「西会津元気グリーンツーリズム協議会」「野沢まちなか再生プロジェクト」が合同で開催したものです。

発表会では、グループごとにこれまでの活動や、検討してきた内容について発表し、活力あるまちづくりに向け、活発な意見交換が行われました。



新入児童の安全を願い

3月20日、町ライオンズクラブの五十嵐隆二会長らが町役場を訪れ、新入学児童に贈るランドセルカバーと西会津中学校に寄附する図書購入支援金を伊藤町長に手渡しました。

ランドセルカバーの寄贈は、児童が安全に通学できるようにとライオンズクラブにより毎年行われています。

寄贈されたランドセルカバーは、各学校に配布し、入学式の日に新入学児童に贈られます。



いつまでもお元気で

3月1日、栗山ハツさん（4町内）が満百歳を迎えられました。

ハツさんは明治44年生まれで、長寿の秘訣は「好き嫌いせず毎日欠かさずことなく食事を取る」「運動するよう心がける」とのことです。春になると散歩に出掛けま

す。同日行われた賀寿贈呈式では、伊藤町長から賀寿と敬老祝い金が贈られました。



最優秀賞おめでとう

平成24年4月に開校する統合小学校校名が、一般公募の中から「西会津小学校」に決まりました。

西会津小学校に応募された123人の中から抽選で最優秀賞1人、優秀賞30人が決定し、最優秀賞には、五十嵐史彦くん（新郷小2年）が選ばれました。その贈呈式が3月9日に町役場で行われ、伊藤町長から五十嵐くんへ記念品が手渡されました。



取り組みが評価されました

町菌床生産組合が林業研究グループ等活動発表会で県林業協会賞を受賞しました。

町菌床生産組合は「菌床栽培から西会津町を金賞にするために」と題して、きのこの産地化に向けた各種取り組みについて発表し、それが評価されての受賞となりました。

この受賞の報告のため、2月14日に三留満組合長（青坂）らが町役場を訪れました。



西会津産の芋を使った焼酎です

西会津産の芋を使った芋焼酎が完成し、3月6日にロータスインで完成披露会が行われました。

この焼酎はJ A会津いいで青年部西会津支部が農商工連携事業として、酒造会社、流通グループと連携して完成させたもので、遊休農地を活用しミネラル栽培で作られた芋（小金千貫）が使われています。完成披露会にはおよそ80人が出席し、地元産の芋を使った焼酎を堪能していました。



こころ豊かな生涯学習 人をはぐくみます

公民館では「心豊かな人間の育成」を目指し、各種事業を行うことで、町民の皆さんの学習をお手伝いします。
今月号では、平成23年度に計画している主な事業（教室）を紹介します。

事業（教室）名	対象者	内 容
おはなしの会	小学1～2年生	絵本や紙芝居の読み聞かせを行います。
各地区出前講座	一 般	各自治区などの要望により開催し、学びのある地域づくりを目指します。
さゆり中学	一 般	町の歴史や文化を学び、西会津町を知る講座です。
家庭教育講座	P T A 他	各学校などで家庭教育に関する講演などを開催します。
放課後子ども教室	小学生	放課後や休日などに地域の皆さんの協力により、さまざまな体験活動を行います。
学校支援地域本部事業	小中学生	学校と公民館が連携し、地域のボランティアの皆さんを講師にさまざまな学校活動を行います。
英会話教室（子どもコース）	小学生	低学年・高学年の2クラスに分け、英会話を通して国際理解を図ります。
歳百合学園（教養・スポーツ講座）	60歳以上	教養とスポーツの2つの講座を開催し、健康で生きがいのある人生を送るための各種教室などを開催します。
西会津町史を読む	一 般	西会津の歴史を学び、各種講座や学校で講師として活躍できるよう指導者の養成を図ります。
女性講座	成人女性	平日の昼間定期的に、幅広い学習活動を行います。
英会話教室（一般コース）	中学生以上	初級・中級2クラスに分け、英会話の学習を行います。
成人式	新成人	新成人者が、自らの成人式を自らの手で作り上げます。

※なお、詳細については別にチラシを配布しますのでご確認のうえ申し込んでください。

【問い合わせ先】 町公民館 ☎45-3244・新郷分館 ☎47-2301・奥川分館 ☎49-2001

出前講座「布ぞうり作り」



英会話教室（子どもコース）



会津地方の民俗芸能を学習

3月3日、歳百合学園と女性講座では第10回学習会と平成22年度の閉講式を開催しました。

学習会は合同で開催、県文化財保護審議会委員の懸田弘訓さんが「会津地方の祭り」と民俗芸能について講義しました。

懸田さんは、受け継がれてきた民俗芸能は天災や飢饉に打ち勝つために、祭りや芸能を通して連綿と地域づくりを行ってきたと説明しました。

また、野沢の草刈り踊り、甚句踊りや黒沢の早乙女踊りの映像を流して、その踊りの特徴と意味を身振り手振りを交えて解説しました。



和久井スミ子さん
(10町内)

公民館の講座に初めて参加して

歳百合学園教養講座での歴史教室では、米沢を探索し上杉神社を参拝。スポーツ講座ではグラウンドゴルフにスポーツ吹矢、カローリングを体験し、大きな声で笑いながら楽しむとともに健康の有り難さを感じました。

女性講座の自然探勝では、なかなか行けない五色沼の清らかな水の音を聞きながら、天候にも恵まれた中で食べた昼食は最高の美味しさで今でも忘れられません。また、西会津町に住んでいながら初めて行った弥平四郎自治区は大内宿に似た佇まいが大変印象的でした。

このように色々なことを体験できる講座が身近にあったことに驚いています。この一年間無我夢中で楽しみ、次回の連絡が来ることを待ち遠しく思いました。これから始まる講座を楽しみにしている毎日です。



閉講式では様々な学習会を振り返り、受講生がそれぞれに感想を述べ、一年間の学習を閉じました。



西会津の古代を学ぶ

学校支援地域本部事業では公民館の講座とあわせて、3月7日に交流物産館より「西会津町史を読む」の第6回学習会を公開講座として開催しました。

講師は、町史監修者で県考古学会顧問の鈴木啓さんで、西会津の古代について講義を行いました。

講義では、卑弥呼の時代においても会津は畿内に負けないほどの繁栄があったことなど、予定時間の90分を超えての講義となりました。

参加した皆さんは、会津の古代について興味深く聞き入っていました。最後に質疑応答があり、1年間の講座を閉じました。



ランニングだって楽しく



今年から始まったキッズランニングクラブの15回目の練習会が、元箱根駅伝の選手で、鏡石町駅伝チーム監督の佐藤靖弘さんを講師に迎えて2月26日行われました。

どんなスポーツも走ることが基本ですが、なかなか取り組むことは容易ではありません。

今回は、一流の選手による工夫を凝らした飽きさせない指導ということで、参加した小学生も目を輝かせて真剣に取り組んでいました。

また、一緒に参加した町陸上競技協会の指導者の皆さんも、手の振り方やも上げの方法など、これからの指導に生かそうと指導法を学んでいました。



すこやかな生活を応援します

いきいきライフ

始めよう！こころの健康づくり

～ぐっすり眠ってストレス解消～

快適な睡眠のための5カ条

第1条 睡眠は人それぞれ、睡眠時間にこだわらない

- ・寝る前に寝床で長く過しすぎると熟睡感が減ります。寝床に入ったらなるべく早く寝ましょう。
- ・年齢を重ねると睡眠時間は短くなるのが普通です。あまりこだわらないようにしましょう。

第2条 快適な睡眠は自ら創り出しましょう

- ・夕食後のコーヒーなどカフェインの摂取や飲酒は、睡眠の質を悪くします。就寝前はなるべく控えましょう。

第3条 眠る前に自分なりのリラックス法を

- ・軽い読書、音楽やストレッチなどで脳と身体をリラックスさせましょう。

第4条 目が覚めたら光を取り入れ、体内時計にスイッチを

- ・毎日、朝日を浴びて体内時計を整えましょう。

第5条 午後の眠気をやりすごしましょう

- ・短い昼寝でリフレッシュ。長い昼寝は、かえってぼんやりのもとです。昼寝をするなら20分から30分くらいにしましょう。



最近「気持ちが悪く落ち込みがちだ」「体の疲れがとれない」などを感じても、気のせいと片付けてはいませんか。
職場や家庭の環境、人間関係など、日常生活の中で絶えず私たちは様々な刺激を受けています。それによって生じたこころのゆがみを、私たちはストレスと捉えます。
ストレスを抱えた状態が長く続くと、心身のバランスが崩れ、こころや身体に不調をきたします。
忙しい日々にあっても、積極的に休養をとり、ストレスの解消とエネルギー補給を図ることが、こころと身体の健康の基本です。

眠りはストレス解消の特効薬

昼間に活発に働く大脳は、眠りによって休息します。また、睡眠には疲労を回復し、ストレスを解消する働きがあります。
「睡眠時間が足りない」「ぐっすり眠れない」といった状態は心身にさまざまな悪影響をもたらします。
よく、8時間睡眠にこだわる方がいますが、適切な睡眠時間は人それぞれです。大切なのは、睡眠時間を多くとることではなく、睡眠の質を良くし、ぐっすり眠ることです。

睡眠障害は専門家に相談を

睡眠障害は、疲労感、情緒不安定や判断力の低下につながります。
また、うつ病や脳血管疾患などこころや体の病気の症状として表れていることがあります。
寝付けない、熟睡感がない、十分に眠っても日中の眠気が強いつきは要注意です。
このようなときは、早めに医師に相談をしましょう。

■平成23年3月1日現在

人口 7,753人
男 3,734人
女 4,019人
世帯 2,851世帯

＜前月比＞

－17人
－9人
－8人
－3世帯

戸籍の窓口

■2月受付分＜敬称略＞

お誕生おめでとう

伊藤 詩真ちゃん 大・詩菜

6町内

お悔やみ申し上げます

清野 富美子 (68) 邦 夫 妻 大久保
佐川 忠男 (69) 康 之 父 安座
三留 とし子 (61) 正 樹 母 青坂
佐藤 ヤエ子 (81) 淳 一 母 上野尻
江川 文子 (88) 市之助 妻 上野尻
山形 尚 (78) 珠 子 夫 徳沢
佐藤 キエ子 (85) 義 治 母 白坂
石井 光登 (73) 亮 一 父 戸中
津川 文子 (95) 紀 雄 母 杉山
長谷川 トシノ (89) 孝 男 母 極入

4月の納税等

- 水道料金・下水道料金
- ケーブルテレビ使用料
- インターネット使用料

納期限 4月11日(月)

- 固定資産税第1期
- 軽自動車税

納期限 5月2日(月)

心配ごと相談日

◆日時 4月7日(木)
27日(水)
午前9時～正午

◆場所 老人憩の家

◆電話 45-4259

西会津診療所土曜診療日

4月16日(第3週) 受付時間11時まで

5月7日(第1週) ”

西会津診療所 ☎45-4228

休日当番医(4月)

日	地 区	医 療 機 関 名	電 話 番 号
4/3 (日)	喜多方市	小 野 病 院	0241 (22) 0414
		山田産婦人科医院	0241 (22) 6300
	会津若松市	加藤内科小児科医院	0242 (27) 2732
		いづかファミリークリニック	0242 (32) 3330
10 (日)	喜多方市	えんどうクリニック	0242 (33) 0700
		寿松堂渡辺医院	0242 (83) 3125
	会津若松市	有 隣 病 院	0241 (24) 5021
		ゆうゆうクリニック	0241 (22) 2111
17 (日)	喜多方市	小島原内科クリニック	0242 (36) 6533
		佐 藤 病 院	0242 (26) 3515
	会津若松市	山口皮膚科医院	0242 (28) 9119
		荒 井 医 院	0242 (83) 2224
24 (日)	喜多方市	渡辺小児科医院	0241 (22) 3133
		佐 原 病 院	0241 (22) 5321
	会津若松市	渡辺脳神経クリニック	0242 (39) 6060
		わたなべクリニック	0242 (24) 0506
29 (日)	喜多方市	耳鼻咽喉科鈴木医院	0242 (28) 3387
		平 野 医 院	0242 (83) 2243
	会津若松市	県立喜多方病院	0241 (22) 2181
		あきもと整形外科クリニック	0241 (21) 1515
29 (金)	喜多方市	わかつインターベジションクリニック	0242 (32) 1558
		いとう子どもクリニック	0242 (27) 4601
	会津若松市	人澤泌尿器科内科クリニック	0242 (38) 3711
		小 野 病 院	0241 (22) 0414
29 (土)	喜多方市	い と う 眼 科	0241 (22) 5900
		長峯内科小児科医院	0242 (27) 2266
	会津若松市	森田小児科医院	0242 (27) 7686
		石田眼科医院	0242 (27) 0858
29 (日)	会津若松市	佐藤整形外科医院	0242 (83) 1155
		会津若松市	会津若松市

※休日当番医・歯科医は変更になる場合があります。受診の際は、電話で確認するなどして受診してください。

休日当番歯科医(4月)

日	地 区	医 療 機 関 名	電 話 番 号
4/3 (日)	会津若松市	きみ眼科・口顎外科クリニック	0242 (93) 6487
10 (日)	会津若松市	小山園科医院	0242 (28) 0180
17 (日)	会津若松市	千石デンタルクリニック	0242 (28) 8211
24 (日)	会津若松市	一 箕 園 科 医 院	0242 (22) 1184
29 (金)	会津若松市	渡部(博)歯科医院	0242 (22) 1124

※本年4月から喜多方・耶麻・両沼地区の休日当番歯科医は廃止となりました。

東日本大震災で被災された皆様へお見舞い申し上げますとともに、被災地の日も早い復興をお祈り申し上げます。

また、多くの町民の方や企業などから物資の提供や義援金をいただきました。さらに、避難所での配膳や昼食の提供などにボランティアの皆さんのご協力をいただきました。紙面をお借りしてお礼申し上げます。